

国内で初めて、常用時も非常時も使えるリチウムイオン蓄電池が
非常用電源として消防認定を取得しました

防災用 蓄電池パッケージ

—— 非常用電源、違いで選ぶならコレ ——

導入・運用にかかる
コストを削減

安心・安全に稼働
(周辺環境にやさしく、
不始動・異常停止を予防)



▶▶▶▶ 非常時は消防・防災負荷に電力を供給。様々な場所で活躍します。◀◀◀◀



福祉施設



事務所や工場



スーパー
マーケット



病院・
医療機関



ホテル等の
宿泊施設



公共施設

非常用電源の新常識

設備投資と運用コスト

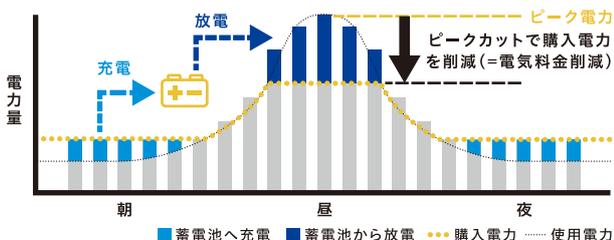
防災設備用の電源が常時運転可能に！

非常時の不始動・異常停止を予防

常時運転により部品劣化等をいち早く発見し、いざという時の不始動・異常停止を予防

ピークカットに活用し電気料金を削減

これまで非常時のみであった電源を日常的にピークカット等で活用

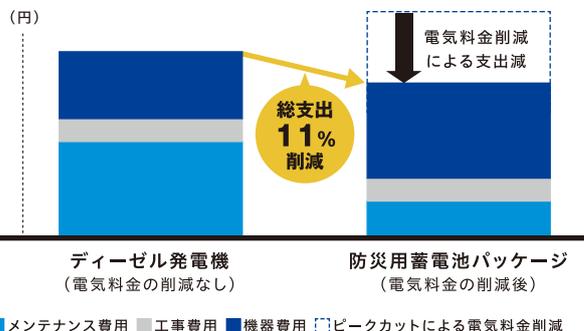


メンテナンス費用を削減

ディーゼル発電機と比較して、予防的保全策のための交換部品数が少なく、保守費用を削減

20年間のトータルコストを削減

ディーゼル発電機と防災用蓄電池パッケージのコスト比較
20年間運用した場合



早期の導入・置き換えが削減効果の最大化に繋がります。

試算条件

ディーゼル発電機: 125kVA (100kW) ・ 蓄電池パッケージ (当社製品): 50kW
ピークカット: 契約電力500kW未満、最大20kWのピークカット

※規模やメンテナンス頻度により試算結果は異なります。

設置条件と安全性

騒音、振動、黒煙の対策の費用・手間を削減



※1: 一般的なディーゼル発電機の標準仕様の場合。(当社調べ)
※2: 設置状況によっては、騒音対策を実施していただく必要があります。



実績、技術力の高さより国内で初めて消防認定を取得

ダイヘンでは100台以上の蓄電池システム導入実績があり、一般的なディーゼル発電機と同等の安全性を担保しております。

仕様

項目	防災用蓄電池パッケージ
定格出力	50kW
蓄電池容量	リチウムイオン蓄電池 50kWh (初期公称容量)
電圧 (負荷側)	3相3線 210V、1相2線 105V
規格	JIS、JEC、JEM、(一社)日本電気協会 認定基準
始動時間	約10秒 (規定値40秒以内)
使用場所	屋外
周囲温度	-10℃~40℃
周囲雰囲気	引火性または腐食性の液体・ガス等が存在しないこと
標高・積雪	海拔1,000m以下、積雪1.0m以下
寸法	W4,470×D1,750×H2,380mm
騒音値	約75dB

外形図

